

念イベントとして、
この「百靴事典」
の発行記
8月19日



◎靴の図書館
このたび靴産業150周年を記念し、全日本革靴工業協同組合連合会の日本の靴産業文化を伝える靴用語集「百靴事典」が完成し発行された。すでに会員の皆様方には送付しております。

この夏、靴に関するユニークな展覧会が二か所で開催された。まず一つ目は、ポップアップライブラリー「靴の図書館」、二つ目が「シュー・ウインドウ・靴を紐とく展覧会」だ。この二つの展覧会をここに紹介する。

又、20日(土)には特別企画の



(金)～29日(月)迄、浅草文化観光センター17階展示スペースで「靴の図書館」が開催された。靴と足に関する専門書・研究書・小説・絵本・コミック・アートブック・写真集・自費制作本・社史など1,000冊以上を一堂に集めたライブラリーとなつていて。

トーキイベント「日本の靴文化と浅草」・27日(土)には「日本靴のニュースタンダード」と題し百靴事典の監修執筆者、大谷知子氏を囲んでトークイベントも行われた。

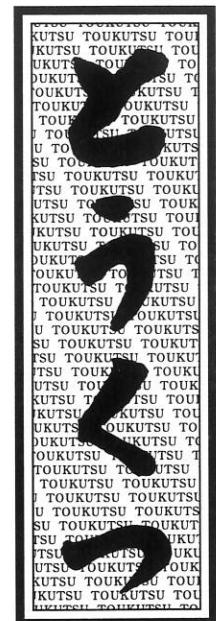
展示会場に足を踏み入れると壁面は目を引く各種の本を分かりやすく展示。中央の平台にはコミックなど楽しい書物が整然と並んでいた。



映画に取り入れられた靴やファッショング、靴をテーマにしたコミック、さらには医学的観点からの靴に関する書物、靴の製法書、靴メーカーの社史など、このコレクションは主催のシュー・ウインドウ・コレクションはまさに靴業界の宝ものと言える。



この展覧会は10月16日(日)迄



一般社団法人
東靴協会
千代田区鍛冶町1-6-17
〒101-0044 ☎(3252)5656

(9月号)

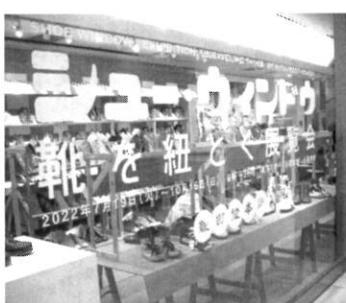


◎シュー・ウインドウ
二つ目は7月19日(火)～10月16日(日)まで世田谷・三軒茶屋のキヤロットタワー3階の生活工房ギャラリーで開催されている「シュー・ウインドウ・靴を紐とく展覧会」だ。



しそうに感じた。

靴郎堂本店の佐藤いちろう氏は1979年大分県生まれ、クツ創家／クリエーター。文化服装学院卒業後、2003年より「靴」「杏」など履物をテーマに作家活動を開始。「履物」をユーモラスに扱った作品や、モノの大切さを考える作品を制作。本展のようにガムテープでクツを楽しめるなど、子どもから大人まで楽しめるワークショップや、展覧会を多数開催している。



ターザーの靴郎堂本店（佐藤いちろう氏）による、遊び心あふれるガムテープで出来ているクツを中心に約300足を陳列してある。会場には本物の靴型も並び、クツの構造や作り方や仕組みもわかりやすく展示してある。日常生活に欠かせない靴。実際の製靴工程をもとに作られたガムテープ素材のクツ。その作り方を学び、構造や仕組みを知ることで、靴に対する新しい見方や、日常生活に身近な製品の様々な側面に触れる機会になる。

不定期でワークショップも開催され、布ガムテープを使つて、新聞紙や段ボールを素材にズックを作る。この日も親子で懸命にクツ作りに取り組んでいる姿が、とても度足をお運びください。

2023年春夏のファッショントレンド

ショーンの傾向 アジアリング(株)

◆2023年春夏のファッショントレンド

3年春夏の
ファッショントレンド

◆レディースシューズの傾向
クラシック回帰の流れから、エレガンスが大きく浮上するので、靴業界にとつて大きなチャンスとなる。23年春夏は「定番から脱却」させ女性らしいパンプスやサンダルを再強化させていく。パンプスでは、定番のプレーインパンプス中心ではなく、装飾使い、バックベルト、サイドオーブン等の「デザインパンプス」を強化。
一方、サンダルは、「ヒールサンダル」と「モードなベタサンダル」を中心に展開し、ミセスやシルバー世代も楽しめる「厚底サンダル」でしつかり売上を作っていく。スタイルの変化に伴い、靴でもより目新しいデザインを求めるようになる。

は、一般的には甲部分にストラップを取り付けた、ヒールはやや低めのカジュアルパンプスの事。23年はデザインアンダーレンジされた目新しいメリージェーンパンプスが大きなトレンドとなる。ストラップも一本タイプだけでなく、2本3本使いのより個性的なデザインが登場。またTの型をした「Tストラップ」使い、高寸ヒールのよりエレガンスなメリージェーンパンプスなど、様々なアレンジが大きくなれる。



メリージーンパンプス

【対策②サンダル感覚が
楽しめるオープントンパンバス】

の一方で、ミニ・ミニ（男性的）な黒のモードスタイルも登場し、メンズの影響を強く受けた新しいファッショングが広がっていく。

一方、サンダルは、「ヒールサンダル」と「モードなベタサンダル」を中心にして展開し、ミセスやシルバー世代も楽しめる「厚底サンダル」でつかり売上を作っていく。スタイルの変化に伴い、靴でもより目新しいデザインを求めるようになる。

一方、バツクベルトやオーブレート、サイドオープン（ヤンバルク）等のオープニングバスは、幅広い世代で大人気となる。特に、普段着感覺に近いカジュアル通勤の女性の中間では、サンダルとパンプスの中間デザインが楽しめる「オープンパンプス」を取り入れる傾向が強まる。また、高寸パンプスだけでなく、フ

○バンブス

メリージエーンパンプス

一方、バツクベルトやオーブレート、サイドオープン（ヤングス）等のオープニングパンプスは、幅広い世代で大人気となる。特に、普段着感覚に近いカジュアル通勤の女性の中間では、サンダルとパンプスの中間デザインが楽しめる「オープンパンプス」を取り入れる傾向が強まる。また、高寸パンプスだけでなく、フ

【対策①ヒールサンダル】

22年は「つつかけ感覚」で
楽しむミュールサンダルが先

ドから大人トレンドまで広がっていく。また、22年にヒットした「グルカサンダル（革の編み込みサンダル）」は人気継続しながら、「グラディエーターサンダル（古代ローマ時代の戦士風のブーツサンダル）」が久しぶりに登場。一方、ヤングで大人気の厚底サンダルは、足入れの良いスリッポンタイプでミセス世代やシルバー世代にも提案し、新たな需要に繋げていく。

【対策②】エレガンススタイルに

これまでベタサンダルと言えば、ビルケンシュトック等で見られるフットベットサンダルや、シーズン末期に登場する低価格のリゾートサンダルが中心だった。しかし、23年は「スクエア角ばつた」、「ゴールドの金具付ストラップ」や「アシンメトリーカット」「左右非対称のカットワーク」などモードアイテムとしてベータサンダルが登場する。大人のスカートやワンピーススタイルに合わせる人が多く、エレガントスタイルに合せる人には、

バックベルトバンブー

行ヒットした。23年はヒールサンダルのデザインバリエーションを広げていく。中でもバックベルトや細ストラップをデザインアクセントにした「レースアップサンダル」が目新しい。ヒールはチャックヒール（太ヒール）から、ピンヒールやキトウヒールなど、より女性らしいきやしやなヒールに変化させていく。

【対策③ミセス＆シルバー世代も楽しめる厚底サンダル】
厚底サンダルと言えば、ヤングトレンドのイメージが強いが、50代以上のミセス世代シルバー世代でも楽しめる大人の厚底サンダルを提案していく。勿論、スリーパー厚底は抵抗があるので、3〜5センチ程度のプラットフォームタイプで打ち出していく。ここでは、低反発または高反発のインソール使いがポイント。そして、アウトソールでVAソールを使用し、抜群の履き心地を体感してもらう。近年、この世代はノンエイジ感覚を求める傾向がより高まっているので、サンダルではなく底シューイズでも打ち出しが欠かせない。

◆メンズシューズの傾向
メンズでは、レディストレンドの影響を受けたアイテムの提案が不可欠となる。「厚底シューイズ」や「グルカサンダル」「スクエア(角ばつたラストの短靴)」などはメンズ兼用シューイズを求めるので、

厚底サンダルと言えば、ヤングトレンドのイメージが強いが、50代以上のミセス世代シルバー世代でも楽しめる大人の厚底サンダルを提案していく。勿論、スリーパー厚底は抵抗があるので、3〜5センチ程度のプラットフォームタイプで打ち出していく。ここでは、低反発または高反発のインソール使いがポイント。そして、アウトソールでVAソールを使用し、抜群の履き心地を体感してもらう。近年、この世代はノンエイジ感覚を求める傾向がより高まっているので、サンダルではなく底シューイズでも打ち出しが欠かせない。



モードなベタサンダル

ガンスタイルであえてベタサンダルを組み合わせるのが新しい。本革の高価格帯商品で打ち出していく。



厚底サンダル

○カジュアルシューズ

オックスフォードやローファーを中心としたトラッド短靴人気は継続しながら、「ワラビー」や「チロリアン」等のモカステッチをデザインニアクセントとしたモカカジュアルを加えていく。メンズでも同時進行で登場しており、カップルや夫婦のお揃い需要を狙っていく。

また、モカカジュアルのクロッグタイプ、バックベルトタイプは目新しく、差別化商品として打ち出したい。盛夏はサンダル一辺倒となるので、梅春から春にかけてモカカジュアルを用意しておこう。



メンズの厚底カジュアル

○カジュアルシューズ
Z世代（25歳以下の年齢）に向けた新しいカジュアルシューズの提案が専門店で必要となる。テイストは2極化が見られ、黒を基調としたモードスタイルでは、「ヨースケ（レディス）で先行ヒット中の靴ブランド」で見られるスリーパー厚底シューズや、ヒールアッパーを加えていく。メンズでも同時進行で登場しており、カップルや夫婦のお揃い需要を狙っていく。

○サンダル

23年はメンズでも「グルカサンダル（革の編み込みサンダル）」を提案。元々、高級紳士靴好きの男性が好む定番アイテムなので、ヤングトレンドだけでなく、30代以上の大人世代にもしっかりと打ち出していく。シンプルな横ストラップのレザーサンダルはより拡大させ、ブルー・グリーンのカラーレザーを新色として加えていく。

また、レディス同様に、アメカジ感覚の強い「ワラビーや「チロリアン」「3アイレットモカシン」などのモカカジュアルがヤングトレンドで大きく復活。ここでは、ラウンド系（丸みを帯びた）のラストとクラフト感覚が楽しめるとなる。モカステッチが大きなポイントとなる。



グルカサンダル

○カジュアルローファー「レザースニーカー」、「スリッポンシューズ」をしっかりと実売に繋げていく。



3アイレットモカシン

○ビジネスシューズ
ビジネスは2極化傾向に備えよう。1つは「信頼感のあるクラシックドレス」。対面商談の再評価が図られ、より信頼感のあるアイテム選びがあり入れる。更に、Z世代を中心とした新社会人向けでは、ソフツクエアやヒールアッパーなど、新しいデザインをそろそろ仕掛けていく。



ハイブリットシューズ

2つめは、テレワーク（在宅勤務）やノマドワーク（カフェ）など様々な場所で仕事をする事）等の広がりに対応した、ハイブリットシューズ（デザインと機能性の融合）を追求していきたい。ビジネス

事）等の広がりに対応した、ハイブリットシューズ（デザインと機能性の融合）を追求していきたい。ビジネスの良いドレスローファー オペラシューズを揃え、オフィス兼用で楽しめるカジュアルドレスを打ち出していく。

